

## 令和2年度 生活習慣関連疾患の動向に関する調査

令和4年7月  
健康保険組合連合会  
政策部 調査分析グループ

本調査は、1,250 組合提供の診療報酬明細書（レセプト）データをもとに、令和2年度の生活習慣関連疾患の受診状況及び医療費の動向をとりまとめたものです。

### 【調査結果のポイント】

#### 1. 内分泌・栄養・代謝及び循環器系疾患の医療費の概況

(医療費及び構成割合)

- 疾病医療費総額（3兆491億円）に占める医療費の割合をみると、内分泌・栄養・代謝が10.1%（3,082億円）、循環器が10.0%（3,064億円）となっている。

(対前年度比伸び率)

- 循環器は▲2.4%の減少、入院が▲3.8%と大きく減少した。
- 内分泌・栄養・代謝は1.2%の増加、入院は▲10.2%と大きく減少した。

#### 2. 生活習慣関連10疾患の受診状況

(加入者1,000人当たり受診者数（年度平均）)

- 医科入院では、高血圧症が0.53人と最も多く、次いで、糖尿病：0.44人、高脂血症：0.31人。
- 医科入院外では、高血圧症が52.6人と最も多く、次いで、高脂血症：51.3人、糖尿病：36.6人。

#### 3. 生活習慣関連10疾患の医療費の動向

(医療費及び構成割合)

- 医科入院（7,786億円）に占める10疾患医療費（492億円）の割合は6.3%。脳血管障害が2.5%（192億円）と最も高く、次いで、虚血性心疾患：1.7%（132億円）、糖尿病：0.8%（62億円）。
- 医科入院外（2兆2,705億円）に占める10疾患医療費（3,561億円）の割合は15.7%。糖尿病が5.2%（1,179億円）と最も高く、次いで、高血圧症：3.9%（879億円）、高脂血症：2.8%（633億円）。

(受診者1人当たり医療費)

- 医科入院では、人工透析が583万1,770円と最も高く、次いで、脳血管障害：575万3,690円、虚血性心疾患：380万460円。
- 医科入院外では、人工透析が456万8,431円と最も高く、次いで、糖尿病：12万8,343円、脳血管障害：10万円。

## 目次

本調査における留意点、用語の定義	3
1. 疾病 19 分類「内分泌・栄養・代謝」及び「循環器」系疾患	
(1) 医療費の概況	6
(2) 入院・入院外別にみた医療費の動向	
1) 医科入院	8
2) 医科入院外	10
2. 生活習慣関連 10 疾患の受診状況	
(1) 加入者 1,000 人当たり受診者数（年度平均）	
1) 医科入院	12
2) 医科入院外	13
(2) 10 疾患でみた受診者数（年度平均）の構成割合	
1) 医科入院	14
2) 医科入院外	14
(3) 年齢階層別にみた受診者数（年度平均）及び構成割合	
1) 医科入院	15
2) 医科入院外	18
(4) 年齢階層（40-74 歳）別にみた加入者 1,000 人当たり受診者数	
1) 医科入院	21
2) 医科入院外	21
3. 生活習慣関連 10 疾患の医療費の動向	
(1) 医療費の概況	
1) 医科入院	22
2) 医科入院外	26
(2) 10 疾患でみた医療費の構成割合	
1) 医科入院	30
2) 医科入院外	30
(3) 受診者 1 人当たり医療費	
1) 医科入院	31
2) 医科入院外	32
(4) 年齢階層別にみた医療費及び構成割合	
1) 医科入院	33
2) 医科入院外	36

## 本調査における留意点、用語の定義

### 1. 生活習慣関連疾患について

調査対象とした生活習慣関連疾患は、疾病 19 分類上の「内分泌・栄養・代謝系疾患」及び「循環器系疾患」とし、個々の疾患については、厚生労働省「標準的な健診・保健指導に関するプログラム（確定版）」【平成 19 年 4 月】掲載の以下 10 疾患を対象としている。

対象疾患名（診療行為）	ICD-10 等
①糖尿病	E11～E14
②脳血管障害	I61、I639、I64
③虚血性心疾患	I209、I259、I219
④動脈閉塞	E145
⑤高血圧症	I10
⑥高尿酸血症	E790
⑦高脂血症	E785、E780、E781
⑧肝機能障害	K760、K701
⑨高血圧性腎臓障害	I129、N26
⑩人工透析	診療行為区分 J038

出典：厚生労働省「標準的な健診・保健指導に関するプログラム（確定版）」p.146（平成 19 年 4 月）

### 2. 調査対象 1,250 組合の医療費データ及び加入者数

1,250 組合の診療報酬明細書（レセプト）データを集計対象とした。また、対前年度比伸び率の算出にあたっては、1,250 組合のうち、データ提供のあった令和 2 年度と元年度同一の 1,219 組合を集計対象としている。

#### 1) 集計対象とした診療報酬明細書（レセプト）データ

1,250 組合	レセプト件数（件）	医療費総額（円）
医科・調剤【計】	217,280,187	3,162,085,792,540
医科	133,092,432	2,378,182,832,180
調剤	84,187,755	783,902,960,360

1,250 組合	加入者数（人）
本人・家族【計】	25,107,907
本人	14,518,174
家族	10,589,790

2) 対前年度比伸び率：1,219 組合（1,250 組合のうち令和 2 年度と元年度同一組合）

1,219 組合	レセプト件数（件）		医療費総額（円）	
	令和 2 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和元年度
医科・調剤【計】	212,681,027	245,168,210	3,094,506,970,530	3,289,223,574,834
医科	130,294,423	150,247,091	2,327,395,123,880	2,490,772,434,804
調剤	82,386,604	94,921,119	767,111,846,650	798,451,140,030

1,219 組合	加入者数（人）	
	令和 2 年度	令和元年度
本人・家族【計】	24,595,834	24,682,678
本人	14,239,547	14,154,967
家族	10,356,342	10,527,836

3. 疾病別医療費及び受診者数の取り扱いについて

- 本調査の疾病分類医療費及び受診者数は、1 枚の診療報酬明細書（レセプト）に記載された 1 ないし複数の疾病名に対して、各疾病名に結び付く診療行為や薬剤の点数を分配し、疾病名ごとに医療費及び受診者数を振り分けた結果に基づき算出した、推計医療費及び推計受診者数である。
- また、入院外の医療費については、上記同様の手法により医科レセプトと紐づく調剤レセプトから傷病名ごとに調剤医療費を分配し合算しているため、調剤医療費を含んだ金額となっている。
- このため、診療区分別医療費を合計した医療費【計】と疾病分類別医療費を合計した疾病分類医療費【計】が必ずしも一致しない場合がある。
- なお、公的な疾病統計におけるレセプトに記載された 1 ないし複数の傷病名のうち、主傷病となる代表疾病に基づいた、1 レセプト 1 傷病名による医療費及び受診者数とは異なる点に留意されたい。

4. 用語の定義

① 加入者 1 人当たり医療費

当該年度の医療費を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を 12 で除したもの）で除したもの。

② 受診率（1,000 人当たりレセプト件数）

当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を 12 で除したもの）で除し 1,000 倍したもの。

③ レセプト 1 件当たり日数

当該年度の診療実日数をレセプト件数で除したもの。

④ 1 日当たり医療費

当該年度の医療費を診療実日数で除したもの。

⑤ 加入者 1 人当たり医療費の 3 要素分解

加入者 1 人当たり医療費は、受診率、1 件当たり日数、1 日当たり医療費の積に分解することができる。

(※加入者 1 人当たり医療費 = 受診率 × 1 件当たり日数 × 1 日当たり医療費)

⑥ 平均受診者数

当該年度の各月の受診者数の和を 12 で除したもの。これは、組合提供の月別の医療費データは集計値であり、受診者数については当該月に報告のあった受診者数に他の月と同一の受診者が計上される場合があることから、当該年度の集計にあたっては、各月の受診者数を累計した値を 12 で除した推計値を用いている。

⑦ 加入者 1,000 人当たり受診者数 (年度平均)

当該年度の平均受診者数を、当該年度の平均加入者数 (各月末の加入者数の和を 12 で除したもの) で除し 1,000 倍したもの。

⑧ 受診者 1 人当たり医療費

当該年度の医療費を、当該年度の平均受診者数で除したもの。

なお、上記①の加入者 1 人当たり医療費は、加入者 1 人当たり受診者数、受診者 1 人当たり医療費に分解することができる。

(※加入者 1 人当たり医療費 = 加入者 1 人当たり受診者数 × 受診者 1 人当たり医療費)

# 1. 疾病 19 分類「内分泌・栄養・代謝」及び「循環器」系疾患

## (1) 医療費の概況

### ① 医療費及び構成割合

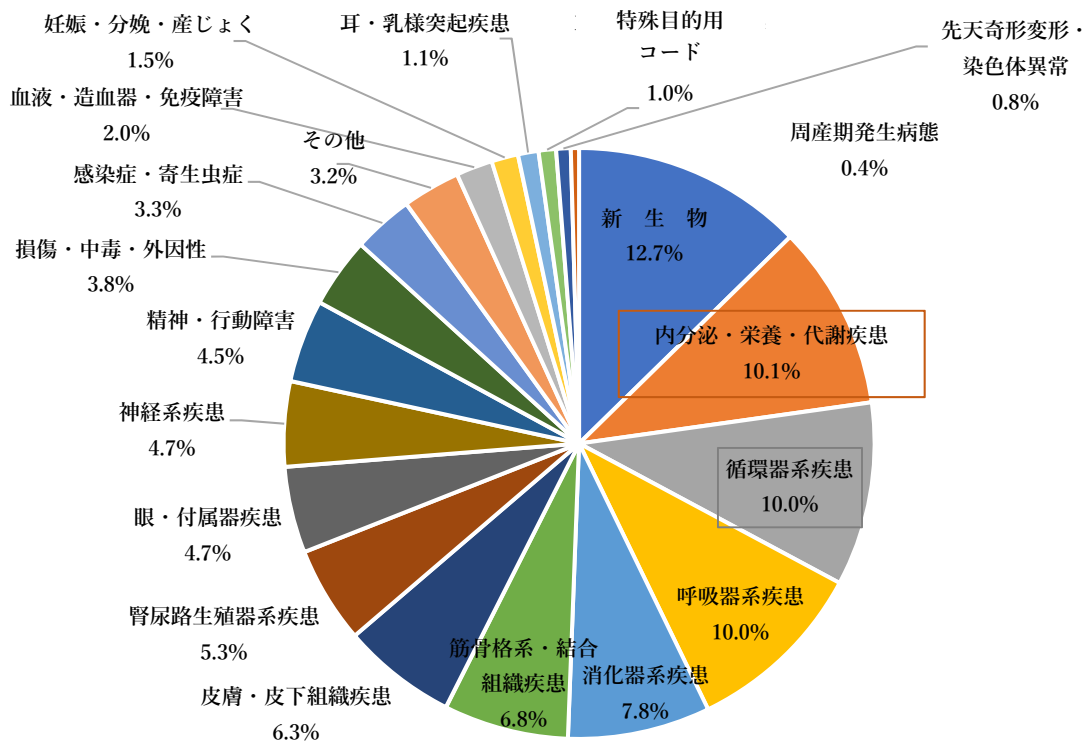
- 疾病分類医療費計（3 兆 491 億円）に占める医療費割合をみると、内分泌・栄養・代謝が 10.1%（3,082 億円）、循環器が 10.0%（3,064 億円）となっている。
- 内分泌・栄養・代謝（10.1%）の内訳は、医科入院：0.7%、医科入院外：9.4%。
- 循環器（10.0%）の内訳は、医科入院：4.2%、医科入院外：5.8%。

### 令和 2 年度 医療費及び構成割合

1,250 組合	医療費 (円)	構成割合 (%)
疾病分類【計】	3,049,106,580,740	(100)
内分泌・栄養・代謝系疾患【計】	308,170,457,750	10.1
（再掲） 医科入院	20,938,248,920	0.7
（再掲） 医科入院外	287,232,208,830	9.4
循環器系疾患【計】	306,431,677,830	10.0
（再掲） 医科入院	129,385,872,620	4.2
（再掲） 医科入院外	177,045,805,210	5.8

### 令和 2 年度 疾病 19 分類別医療費構成割合

#### 【医科計】



② 対前年度比伸び率

- 循環器は▲2.4%の減少、入院が▲3.8%と大きく減少した。
- 内分泌・栄養・代謝は1.2%の増加、入院は▲10.2%と大きく減少。

令和2年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の1,219組合ベース）

	伸び率 (%)
疾病分類【計】	▲5.9
内分泌・栄養・代謝系疾患【計】	1.2
医科入院	▲10.2
医科入院外	2.1
循環器系疾患【計】	▲2.4
医科入院	▲3.8
医科入院外	▲1.5

参考：疾病19分類別医療費構成割合【医科計】（前年度調査との比較）

疾病分類名	令和2年度 (1,250組合)	(参考) 元年度調査 (1,295組合)
新生物	12.7%	11.9%
内分泌・栄養・代謝疾患	10.1%	9.4%
循環器系疾患	10.0%	9.7%
呼吸器系疾患	10.0%	14.3%
消化器系疾患	7.8%	7.3%
筋骨格系・結合組織疾患	6.8%	6.6%
皮膚・皮下組織疾患	6.3%	5.6%
腎尿路生殖器系疾患	5.3%	4.9%
眼・付属器疾患	4.7%	4.4%
神経系疾患	4.7%	4.2%
精神・行動障害	4.5%	4.3%
損傷・中毒・外因性	3.8%	3.9%
感染症・寄生虫症	3.3%	3.7%
その他	3.2%	4.0%
血液・造血器・免疫障害	2.0%	1.8%
妊娠・分娩・産じょく	1.5%	1.4%
耳・乳様突起疾患	1.1%	1.3%
特殊目的用コード	1.0%	0.0%
先天奇形変形・染色体異常	0.8%	0.8%
周産期発生病態	0.4%	0.4%

注) 円グラフ及び表中の「その他」は、「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」、「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、「不詳」である（以下、同じ）。

(2) 入院・入院外別にみた医療費の動向

1) 医科入院

① 加入者1人当たり医療費

- 内分泌・栄養・代謝は 834 円。
- 循環器は、新生物：6,332 円に次いで高く、5,153 円となっている。





② 対前年度比伸び率

- 内分泌・栄養・代謝は▲9.8%と大きく減少。要因として、1件当たり日数は4.0%増加したが、受診率が▲9.8%と大きく減少、1日当たり医療費が▲3.9%減少した。
- 循環器は▲3.4%の減少。要因として、受診率が▲6.2%と大きく減少した。

令和2年度【医科入院】対前年度比伸び率（%）（※両年度同一の1,219組合ベース）

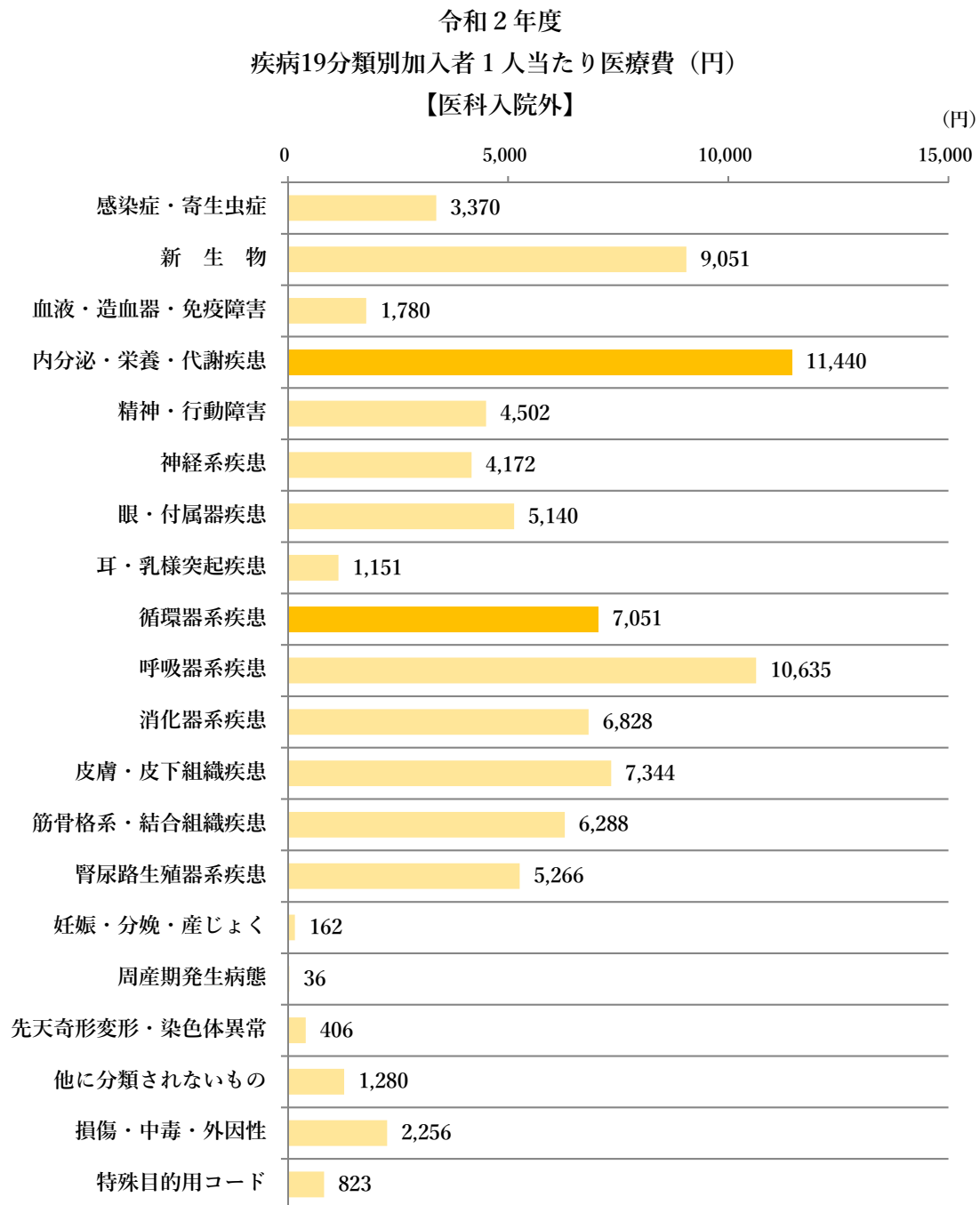
疾病分類名	加入者1人当たり <sup>1</sup> 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	▲18.1	▲20.8	10.4	▲6.3
新生物	▲2.2	▲5.9	0.2	3.6
血液・造血器・免疫障害	▲6.2	▲4.0	0.2	▲2.5
内分泌・栄養・代謝疾患	▲9.8	▲9.8	4.0	▲3.9
精神・行動障害	▲5.3	▲6.1	0.5	0.4
神経系疾患	▲4.8	▲9.0	3.0	1.7
眼・付属器疾患	▲6.6	▲9.8	4.1	▲0.4
耳・乳様突起疾患	▲21.5	▲28.0	10.0	▲0.9
循環器系疾患	▲3.4	▲6.2	1.3	1.8
呼吸器系疾患	▲34.6	▲30.0	12.6	▲17.2
消化器系疾患	▲5.7	▲6.6	0.8	0.3
皮膚・皮下組織疾患	▲10.7	▲7.2	3.3	▲6.8
筋骨格系・結合組織疾患	▲3.9	▲6.1	▲0.8	3.2
腎尿路生殖器系疾患	▲6.5	▲7.1	0.7	▲0.1
妊娠・分娩・産じょく	▲3.6	▲3.1	▲3.2	2.8
周産期発生病態	▲0.4	▲7.4	1.5	6.0
先天奇形変形・染色体異常	▲7.4	▲9.4	2.2	0.1
他に分類されないもの	▲11.1	▲8.1	2.3	▲5.3
損傷・中毒・外因性	▲9.5	▲6.9	0.3	▲3.1
特殊目的用コード	-	-	-	-

<sup>1</sup> 加入者1人当たり医療費＝受診率×1件当たり日数×1日当たり医療費

## 2) 医科入院外

### ① 加入者1人当たり医療費

- 内分泌・栄養・代謝は1万1,440円で、疾病19分類中、最も高くなっている。
- 循環器は、皮膚・皮下組織に次いで高く、7,051円となっている。



② 対前年度比伸び率

- 内分泌・栄養・代謝は2.5%の増加。要因として、1日当たり医療費が3.5%増加した。
- 循環器は▲1.1%の減少。要因として、1件当たり日数：▲0.7%、1日当たり医療費：▲0.2%の減少による。

令和2年度【医科入院外】対前年度比伸び率（%）（※両年度同一の1,219組合ベース）

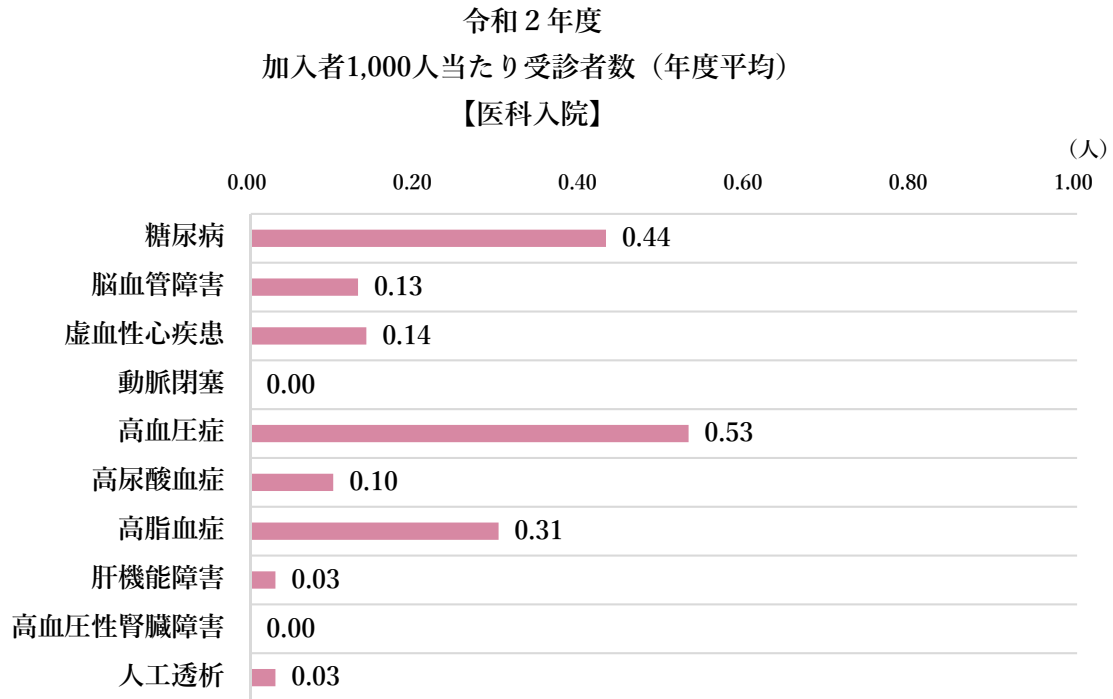
疾病分類名	加入者1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	▲15.9	▲24.3	0.6	10.5
新生物	3.1	▲1.5	0.6	4.1
血液・造血器・免疫障害	8.6	▲1.4	▲0.6	10.6
内分泌・栄養・代謝疾患	2.5	0.2	▲1.4	3.5
精神・行動障害	1.6	2.2	▲0.7	0.2
神経系疾患	6.4	2.1	▲0.6	5.3
眼・付属器疾患	1.9	▲5.6	▲0.8	8.7
耳・乳様突起疾患	▲16.4	▲20.2	▲7.6	14.0
循環器系疾患	▲1.1	0.2	▲0.7	▲0.2
呼吸器系疾患	▲34.9	▲34.8	▲4.6	4.6
消化器系疾患	2.7	▲5.6	0.0	9.4
皮膚・皮下組織疾患	6.5	▲0.1	▲2.7	9.7
筋骨格系・結合組織疾患	▲1.1	▲3.7	1.5	1.3
腎尿路生殖器系疾患	3.0	▲0.3	▲1.2	4.2
妊娠・分娩・産じょく	▲1.8	▲3.8	▲0.5	3.2
周産期発生病態	2.8	▲3.9	▲1.9	7.0
先天奇形変形・染色体異常	0.0	▲0.9	0.0	1.4
他に分類されないもの	▲3.4	▲12.1	0.0	9.8
損傷・中毒・外因性	▲7.4	▲6.8	1.4	▲2.2
特殊目的用コード	-	-	-	-

## 2. 生活習慣関連 10 疾患の受診状況

(1) 加入者 1,000 人当たり受診者数 (年度平均)

### 1) 医科入院

○ 高血圧症が 0.53 人と最も多く、次いで、糖尿病：0.44 人、高脂血症：0.31 人。

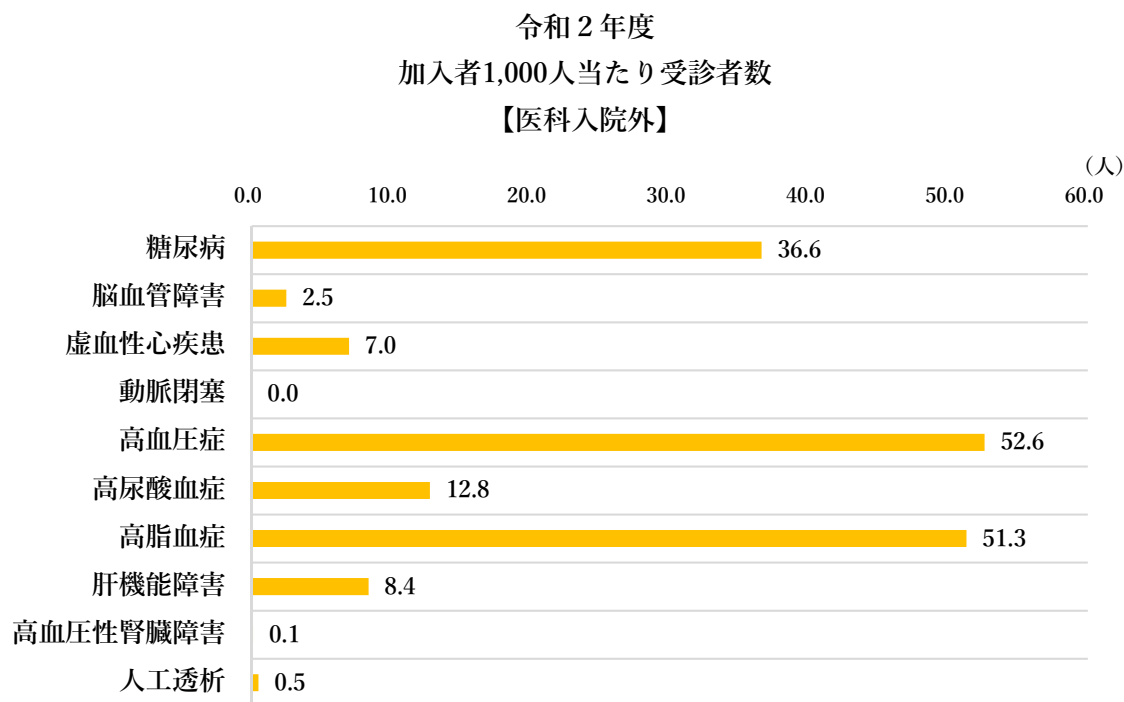


受診者数及び加入者 1,000 人当たり受診数 (年度平均)

1,250 組合	受診者数 (年度平均) (人)	加入者 1,000 人当たり 受診者数 (人)
糖尿病	10,965	0.44
脳血管障害	3,335	0.13
虚血性心疾患	3,469	0.14
動脈閉塞	21	0.00
高血圧症	13,363	0.53
高尿酸血症	2,444	0.10
高脂血症	7,667	0.31
肝機能障害	673	0.03
高血圧性腎臓障害	24	0.00
人工透析	801	0.03
合計	42,761	1.70

## 2) 医科入院外

○ 高血圧症が 52.6 人と最も多く、次いで、高脂血症：51.3 人、糖尿病：36.6 人。



### 受診者数及び加入者 1,000 人当たり受診数 (年度平均)

1,250 組合	受診者数 (年度平均) (人)	加入者 1,000 人当たり 受診者数 (人)
糖尿病	918,651	36.6
脳血管障害	63,754	2.5
虚血性心疾患	175,453	7.0
動脈閉塞	548	0.0
高血圧症	1,320,632	52.6
高尿酸血症	320,733	12.8
高脂血症	1,287,963	51.3
肝機能障害	209,740	8.4
高血圧性腎臓障害	3,576	0.1
人工透析	12,938	0.5
合計	4,313,986	171.8

(2) 10 疾患でみた受診者数 (年度平均) の構成割合

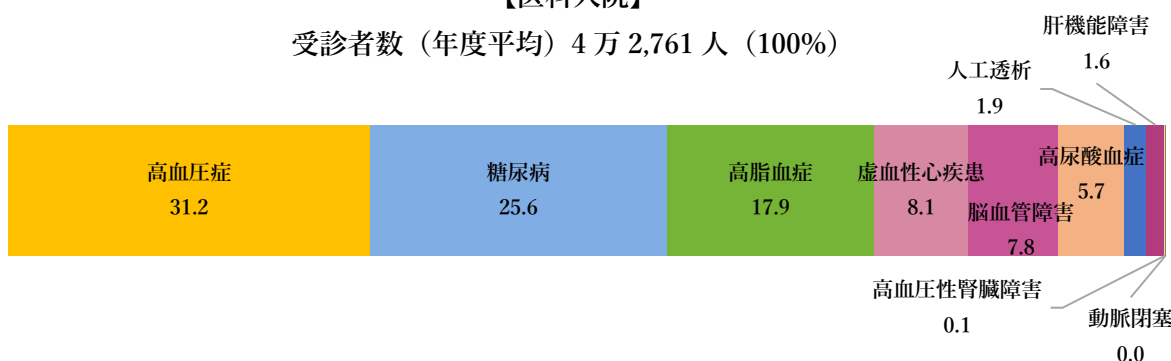
1) 医科入院

- 受診者数 (年度平均) 4 万 2,761 人のうち、高血圧症：31.2%、糖尿病：25.6%、高脂血症：17.9%となっている。また、入院外に比べ、虚血性心疾患：8.1%、脳血管障害：7.8%の割合が高い。

生活習慣関連 10 疾患受診者数 (年度平均) の構成割合 (%)

【医科入院】

受診者数 (年度平均) 4 万 2,761 人 (100%)



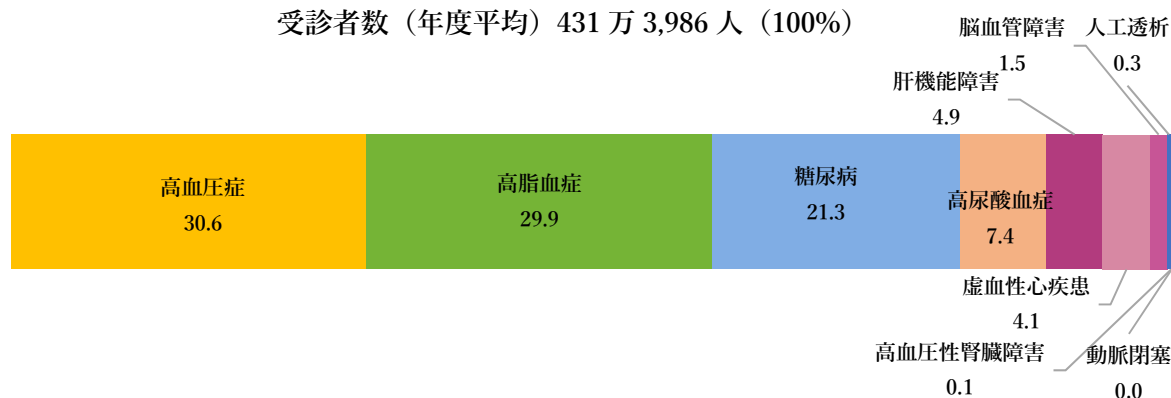
2) 医科入院外

- 受診者数 (年度平均) 431 万 3,986 人のうち、高血圧症：30.6%、高脂血症：29.9%、糖尿病：21.3%となっている。また、入院に比べ、高尿酸血症：7.4%、肝機能障害：4.9%の割合が高い。

生活習慣関連 10 疾患受診者数 (年度平均) の構成割合 (%)

【医科入院外】

受診者数 (年度平均) 431 万 3,986 人 (100%)

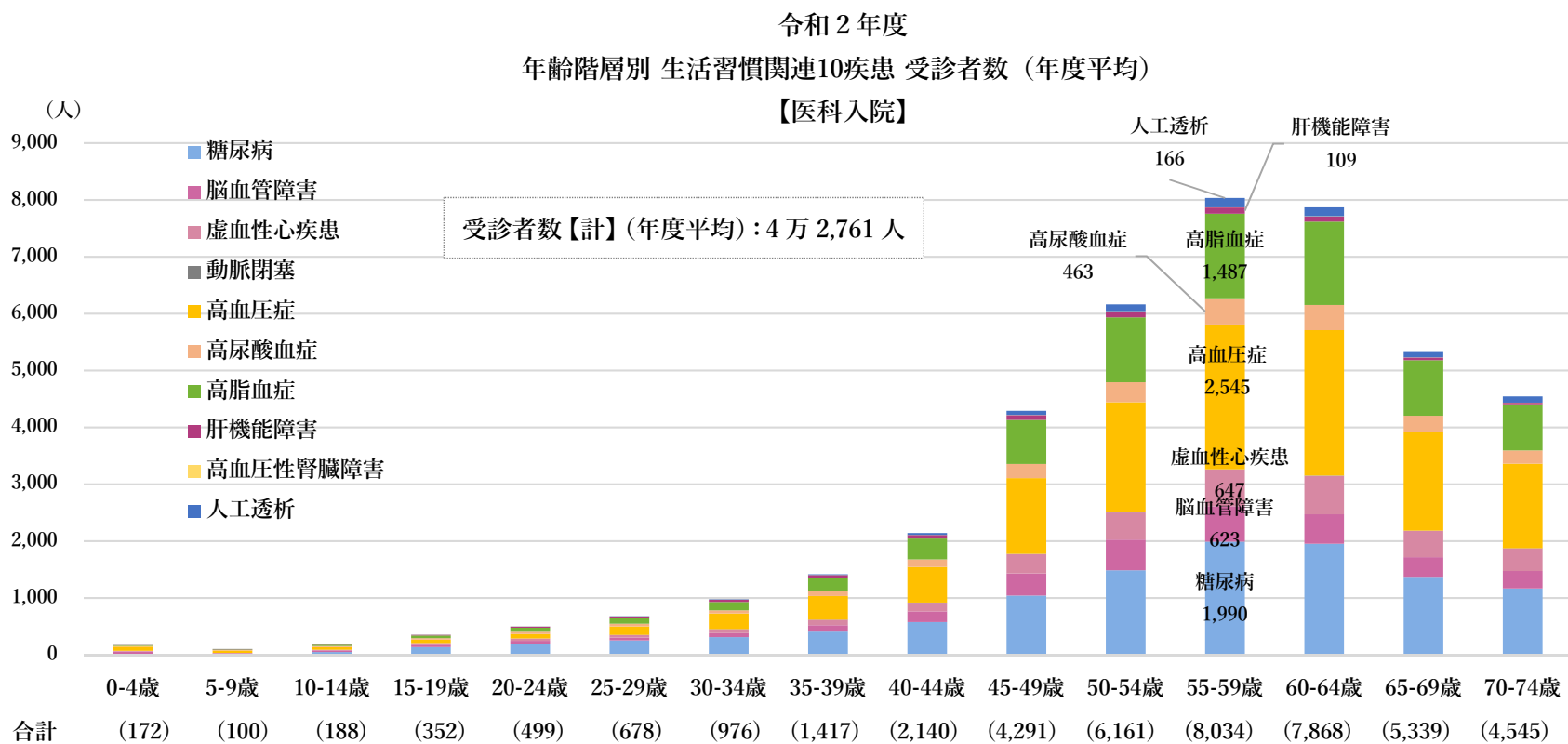


(3) 年齢階層別にみた受診者数（年度平均）及び構成割合

1) 医科入院

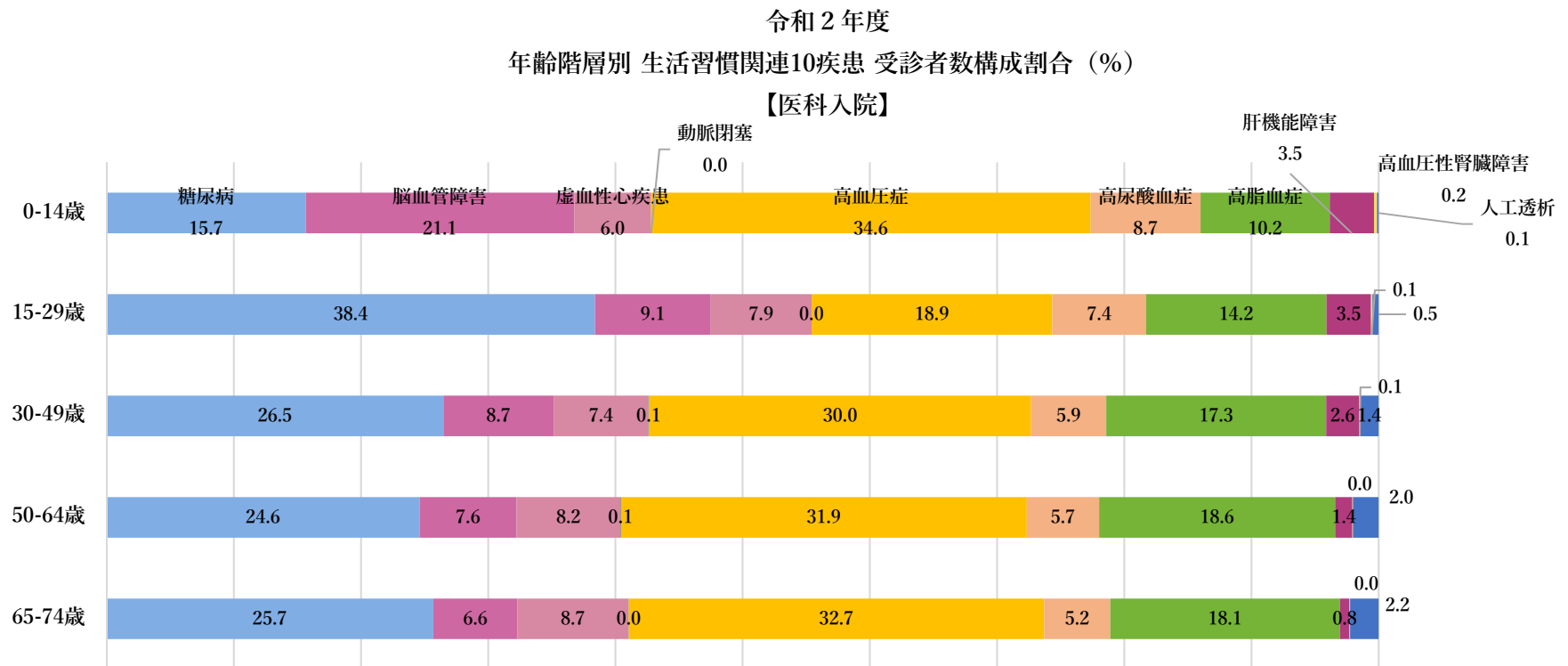
① 受診者数（年度平均）

- 総数（積み上げ）では55-59歳（8,034人）が最も多く、次いで、60-64歳（7,868人）、50-54歳（6,161人）。
- 総数が最も多い55-59歳の疾患をみると、高血圧症（2,545人）が最も多く、次いで、糖尿病（1,990人）、高脂血症（1,487人）。



## ② 構成割合

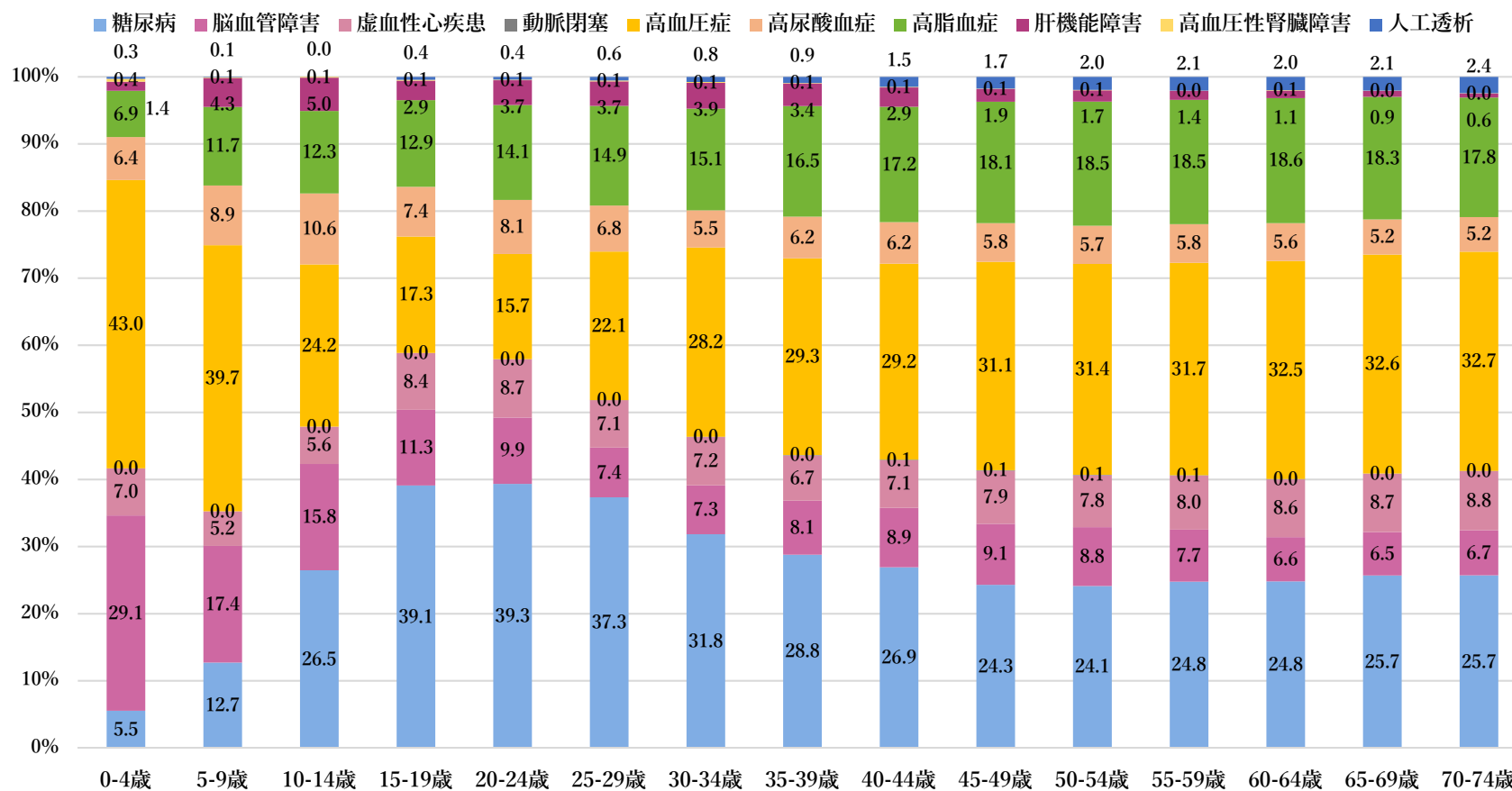
- 0-14 歳では、高血圧症（34.6%）、脳血管障害（21.1%）の割合が高く、15-29 歳では、糖尿病（38.4%）、高血圧症（18.9%）の割合が高い。
- 30 歳以降では、高血圧症（30.0～32.7%）、糖尿病（24.6～26.5%）の割合が高く、次いで、高脂血症（17.3～18.6%）が高い割合を占める。





(参考①)

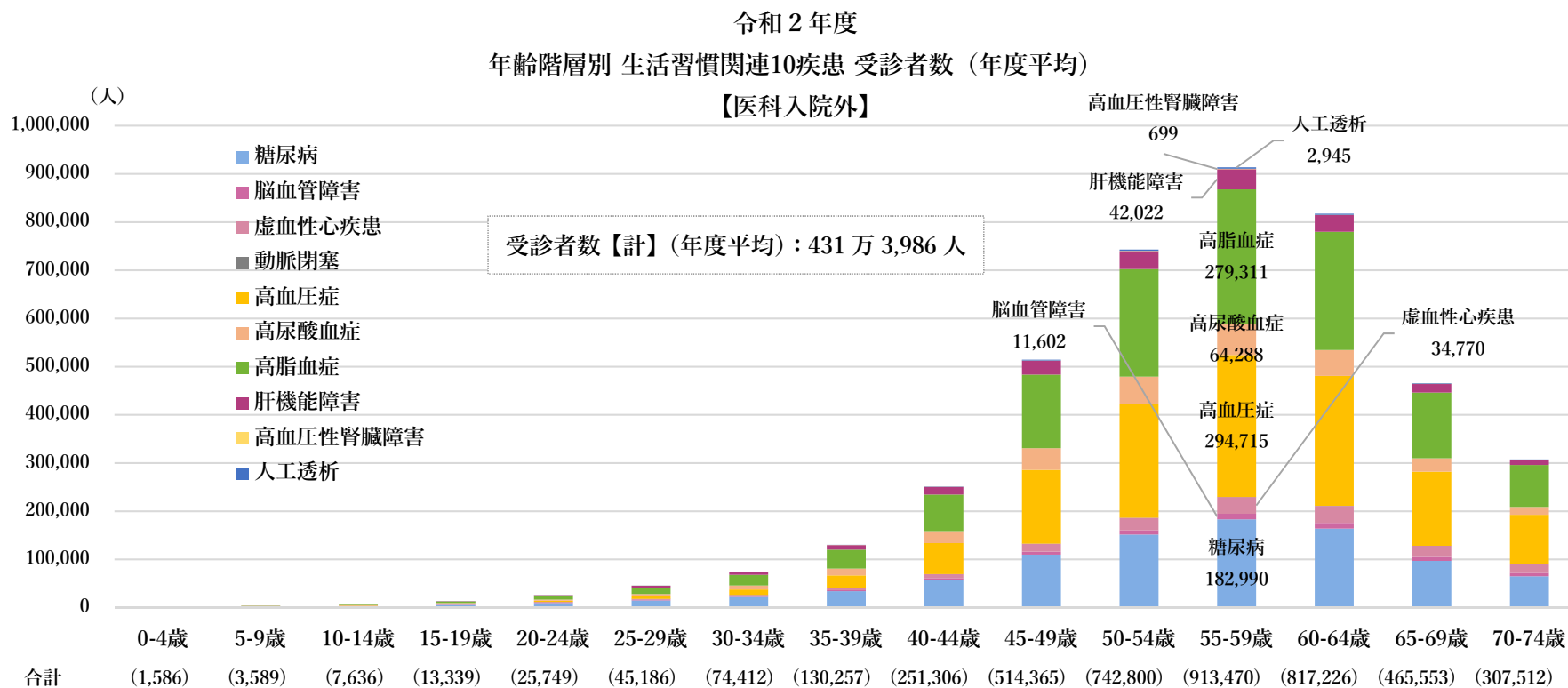
令和2年度  
年齢階層別 生活習慣関連10疾患 受診者数構成割合 (%)  
【医科入院】



## 2) 医科入院外

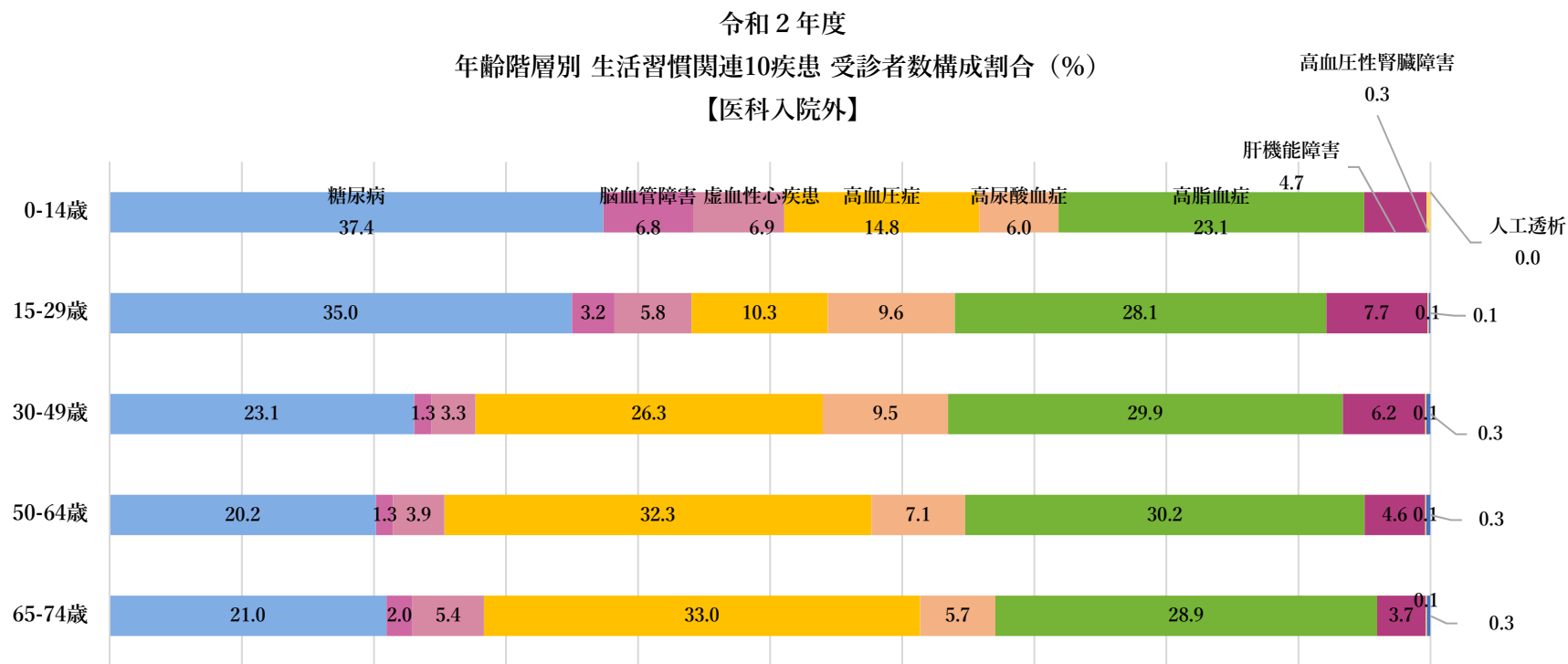
### ① 受診者数（年度平均）

- 総数（積み上げ）では55-59歳（91万3,470人）が最も多く、次いで、60-64歳（81万7,226人）、50-54歳（74万2,800人）。
- 55-59歳の疾患をみると、高血圧症（29万4,715人）が最も多く、次いで、高脂血症（27万9,311人）、糖尿病（18万2,990人）。



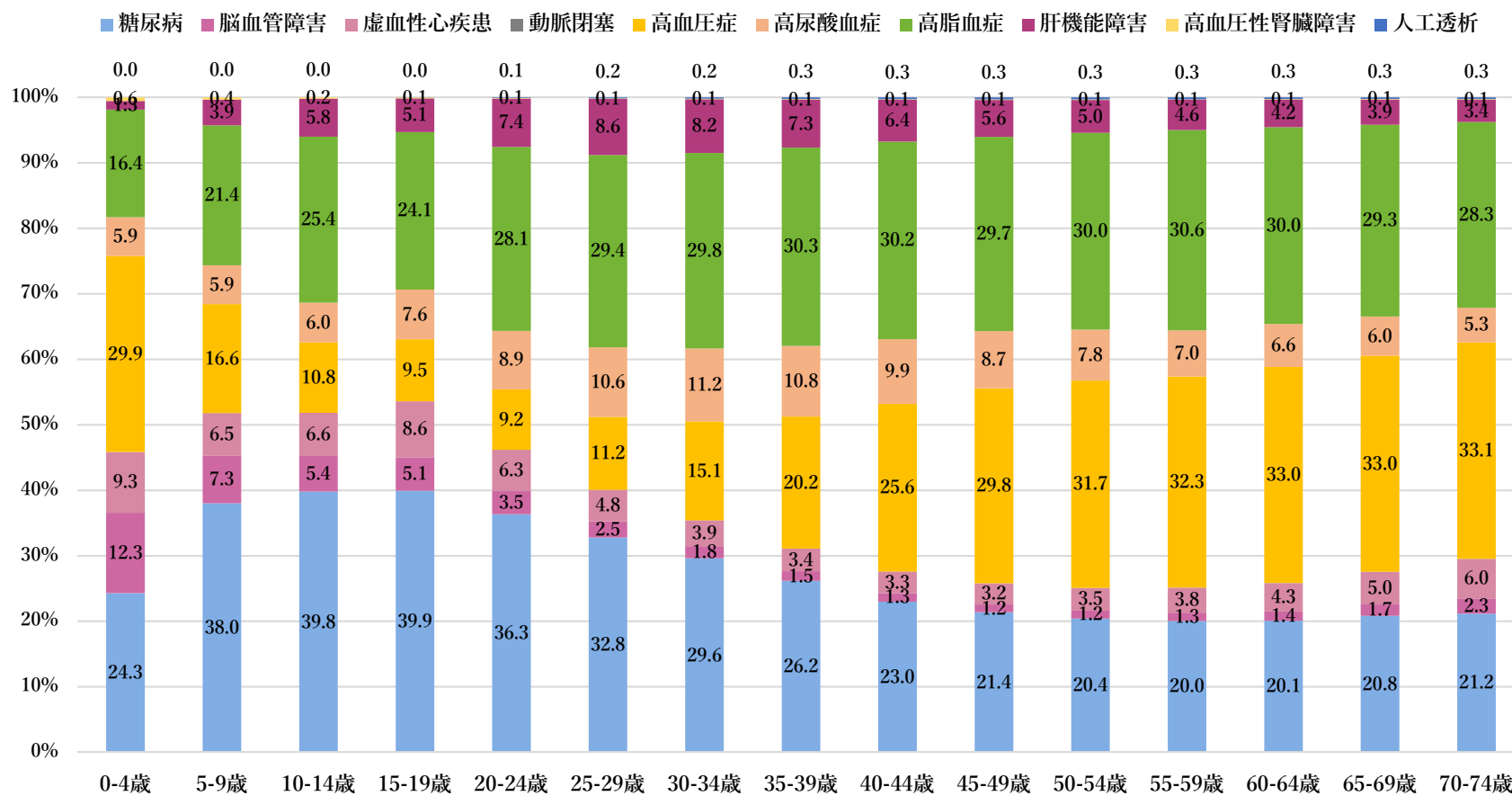
## ② 構成割合

- 0-14 歳では糖尿病（37.4%）、高脂血症（23.1%）の割合が高く、他の年齢階層に比べ、脳血管障害、虚血性心疾患の割合が高い。
- 15-29 歳では、糖尿病（35.0%）高脂血症（28.1%）の割合が高く、他の年齢階層に比べ、高尿酸血症、肝機能障害の割合が高い。
- 50 歳以降では、高血圧症、高脂血症、糖尿病の3疾患で全体の80%以上を占める。



(参考②)

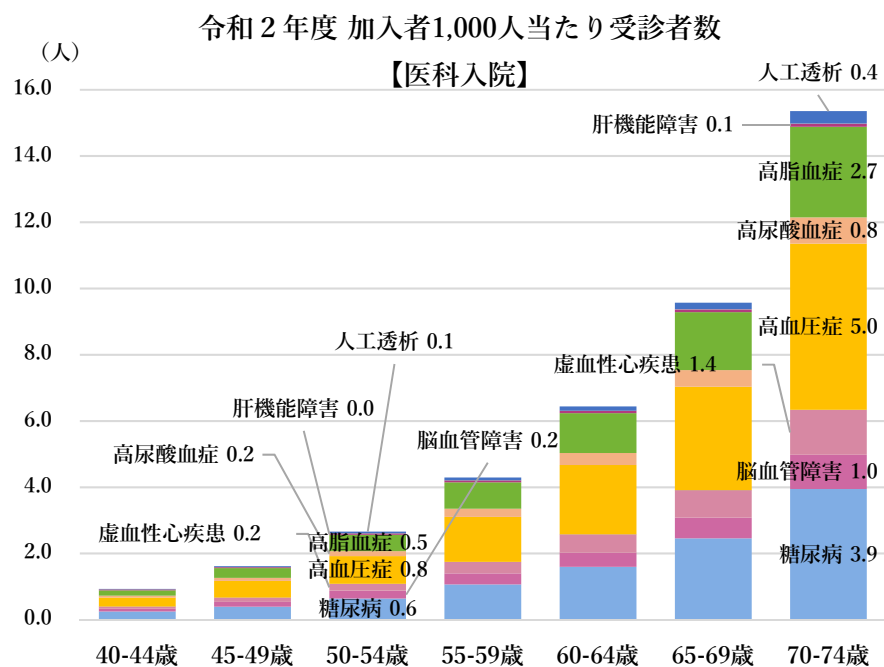
令和2年度  
 年齢階層別 生活習慣関連10疾患 受診者数構成割合 (%)  
 【医科入院外】



(4) 年齢階層 (40-74 歳) 別にみた加入者 1,000 人当たり受診者数

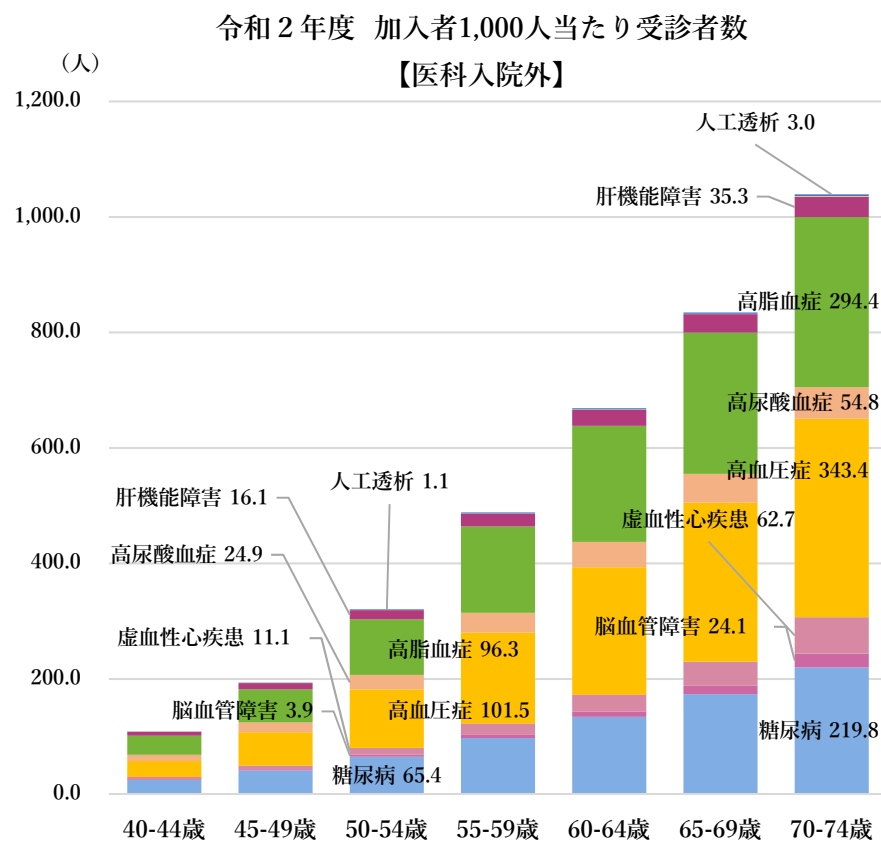
1) 医科入院

- 50-54 歳では、高血圧症：0.8 人、糖尿病：0.6 人、高脂血症：0.5 人。
- 70-74 歳では、高血圧症：5.0 人、糖尿病：3.9 人、高脂血症：2.7 人。



2) 医科入院外

- 50-54 歳では、高血圧症：101.5 人、高脂血症：96.3 人、糖尿病：65.4 人。
- 70-74 歳では、高血圧症：343.4 人、高脂血症：294.4 人、糖尿病：219.8 人。



### 3. 生活習慣関連 10 疾患の医療費の動向

#### (1) 医療費の概況

##### 1) 医科入院

##### ① 医療費及び構成割合

- 医科入院（7,786 億円）に占める 10 疾患医療費（492 億円）の割合は 6.3%。
- 脳血管障害が 2.5%（192 億円）と最も高く、次いで、虚血性心疾患：1.7%（132 億円）、糖尿病：0.8%（62 億円）。

#### 令和 2 年度 医療費及び構成割合

1,250 組合	医療費（円）	構成割合（%）
疾病分類【計】	778,573,334,930	(100)
10 疾患【計】	49,201,844,510	6.3
糖尿病	6,150,027,770	0.8
脳血管障害	19,190,953,720	2.5
虚血性心疾患	13,185,379,450	1.7
動脈閉塞	22,422,190	0.0
(再掲) 高血圧症	4,364,105,960	0.6
高尿酸血症	329,937,540	0.0
高脂血症	1,130,003,620	0.1
肝機能障害	140,558,680	0.0
高血圧性腎臓障害	18,665,920	0.0
人工透析	4,669,789,660	0.6

② 対前年度比伸び率

- 動脈閉塞が▲28.6%と大きく減少。次いで、虚血性心疾患：▲11.8%、高脂血症：▲11.4%。
- 高血圧性腎臓障害は 13.2%と大きく増加した。

令和2年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の1,219組合ベース）

	伸び率（%）
糖尿病	▲5.8
脳血管障害	▲1.9
虚血性心疾患	▲11.8
動脈閉塞	▲28.6
高血圧症	▲10.1
高尿酸血症	▲3.2
高脂血症	▲11.4
肝機能障害	▲10.0
高血圧性腎臓障害	13.2
人工透析	▲4.3

③ 加入者1人当たり医療費及び3要素

【加入者1人当たり医療費】

- 脳血管障害が764円と最も高く、次いで、虚血性心疾患：525円、糖尿病：245円。

【受診率】

- 高血圧症が6.4件と最も多く、次いで、糖尿病：5.3件、高脂血症：3.7件。

【1件当たり日数】

- 脳血管障害が17.6日と最も長く、次いで、動脈閉塞：17.4日、人工透析：14.6日。

【1日当たり医療費】

- 人工透析が3万2,697円と最も高く、次いで、虚血性心疾患：3万1,518円、脳血管障害：2万6,179円。

令和2年度 加入者1人当たり医療費及び3要素

1,250 組合	加入者1人当たり 医療費(円)	受診率 (件/千人)	1件当たり 日数(日)	1日当たり 医療費(円)
糖尿病	245	5.3	11.5	4,017
脳血管障害	764	1.7	17.6	26,179
虚血性心疾患	525	1.7	10.0	31,518
動脈閉塞	1	0.0	17.4	5,199
高血圧症	174	6.4	11.1	2,426
高尿酸血症	13	1.2	12.4	905
高脂血症	45	3.7	10.9	1,119
肝機能障害	6	0.3	11.1	1,564
高血圧性腎臓障害	1	0.0	11.4	5,772
人工透析	186	0.4	14.6	32,697



④ 加入者1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率

- 高血圧症：▲12.5%、虚血性心疾患：▲10.2%、糖尿病：▲9.1%と大きく減少。要因として、受診率が大きく減少したほか、1日当たり医療費も減少した。

令和2年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の1,219組合ベース）

	加入者1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
糖尿病	▲9.1	▲4.8	▲0.2	▲0.6
脳血管障害	▲1.6	▲5.9	2.3	2.3
虚血性心疾患	▲10.2	▲8.9	0.9	▲3.7
動脈閉塞	-	14.3	▲2.9	▲33.8
高血圧症	▲12.5	▲5.8	▲0.4	▲3.9
高尿酸血症	0.0	▲5.8	▲0.9	4.0
高脂血症	0.0	▲5.3	▲0.3	▲5.8
肝機能障害	-	▲6.6	▲2.9	▲0.6
高血圧性腎臓障害	-	▲9.1	24.3	5.6
人工透析	0.0	▲5.3	0.3	1.1

## 2) 医科入院外

### ① 医療費構成割合

- 医科入院外(2兆2,705億円)に占める10疾患医療費(3,561億円)の割合は15.7%。
- 糖尿病が5.2%(1,179億円)と最も高く、次いで、高血圧症：3.9%(879億円)、高脂血症：2.8%(633億円)。

### 令和2年度 医療費及び構成比

1,250 組合	医療費 (円)	構成比 (%)
疾病分類【計】	2,270,533,245,810	(100)
10 疾患【計】	356,052,138,930	15.7
糖尿病	117,902,027,860	5.2
脳血管障害	6,375,359,500	0.3
虚血性心疾患	8,366,385,460	0.4
動脈閉塞	4,464,210	0.0
(再掲) 高血圧症	87,920,252,820	3.9
高尿酸血症	10,911,752,380	0.5
高脂血症	63,316,129,040	2.8
肝機能障害	2,107,624,660	0.1
高血圧性腎臓障害	41,015,830	0.0
人工透析	59,107,127,170	2.6

② 対前年度比伸び率

- 脳血管障害が▲9.2%と大きく減少。次いで、虚血性心疾患：▲6.6%、高血圧性腎臓障害：▲2.1%。
- 糖尿病は5.1%と大きく増加した。

令和2年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の1,219組合ベース）

	伸び率（%）
糖尿病	5.1
脳血管障害	▲9.2
虚血性心疾患	▲6.6
動脈閉塞	4.5
高血圧症	▲1.5
高尿酸血症	▲0.8
高脂血症	▲1.2
肝機能障害	▲0.5
高血圧性腎臓障害	▲2.1
人工透析	2.0

③ 加入者 1 人当たり医療費及び 3 要素

【加入者 1 人当たり医療費】

- 糖尿病が 4,696 円と最も高く、次いで、高血圧症：3,502 円、高脂血症：2,522 円。

【受診率】

- 高血圧症が 639.6 件と最も多く、次いで、高脂血症：622.1 件、糖尿病：452.7 件。

【1 件当たり日数】

- 人工透析が 12.6 日と最も長く、次いで、虚血性心疾患及び動脈閉塞：1.6 日。

【1 日当たり医療費】

- 人工透析が 3 万 66 円と最も高く、次いで、糖尿病：8,092 円、脳血管障害：5,667 円。

令和 2 年度 1 人当たり医療費及び 3 要素

1,250 組合	加入者 1 人当たり 医療費(円)	受診率 (件/千人)	1 件当たり 日数(日)	1 日当たり 医療費(円)
糖尿病	4,696	452.7	1.3	8,092
脳血管障害	254	30.9	1.5	5,667
虚血性心疾患	333	85.0	1.6	2,519
動脈閉塞	0	0.3	1.6	432
高血圧症	3,502	639.6	1.2	4,625
高尿酸血症	435	154.1	1.4	2,075
高脂血症	2,522	622.1	1.3	3,211
肝機能障害	84	100.5	1.2	674
高血圧性腎臓障害	2	1.7	1.3	765
人工透析	2,354	6.2	12.6	30,066

④ 加入者1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率

- 脳血管障害：▲8.7%、虚血性心疾患：▲6.7%と大きく減少。要因として、受診率が大きく減少したほか、1日当たり医療費も減少した。
- 糖尿病は5.4%と大きく増加。要因として、1日当たり医療費が4.4%と大きく増加し、受診率も2.4%増加した。

令和2年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の1,219組合ベース）

	加入者1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
糖尿病	5.4	2.4	▲1.5	4.4
脳血管障害	▲8.7	▲5.7	▲0.7	▲2.5
虚血性心疾患	▲6.7	▲2.7	▲0.6	▲2.9
動脈閉塞	-	17.0	▲7.1	▲3.4
高血圧症	▲1.0	0.8	▲2.5	0.2
高尿酸血症	0.0	3.2	▲1.5	▲2.4
高脂血症	▲0.9	2.4	▲1.6	▲1.5
肝機能障害	0.0	5.1	▲1.6	▲3.4
高血圧性腎臓障害	-	3.2	▲1.6	▲2.8
人工透析	2.6	2.6	1.0	▲1.2

(2) 10 疾患でみた医療費の構成割合

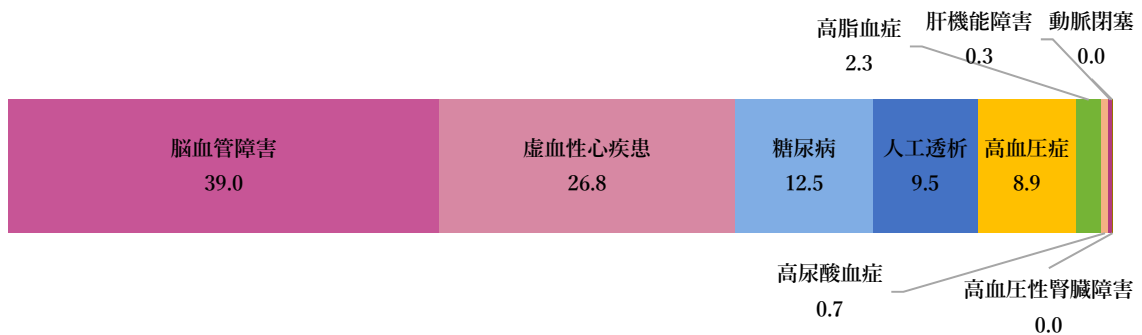
1) 医科入院

- 脳血管障害：39.0%が最も高く、次いで、虚血性心疾患：26.8%、糖尿病：12.5%。

生活習慣関連 10 疾患医療費の構成割合 (%)

【医科入院】

10 疾患計：492 億 184 万 4,510 円



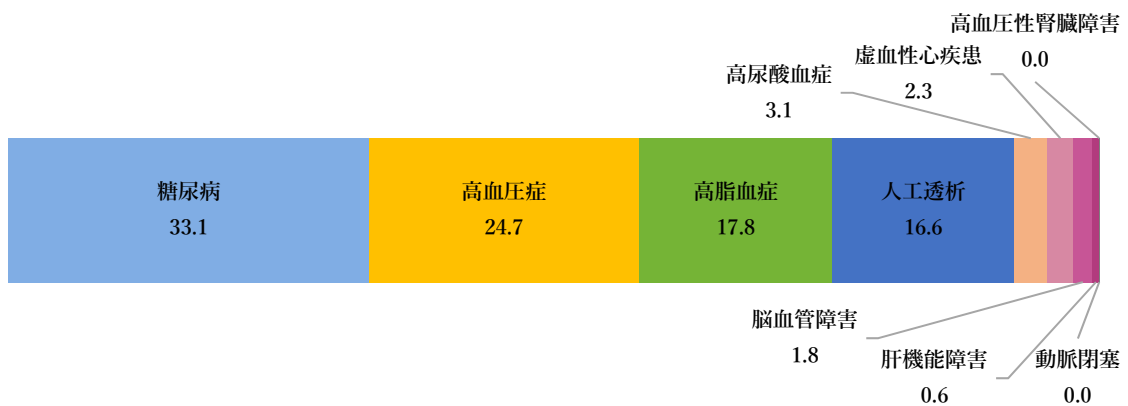
2) 医科入院外

- 糖尿病：33.1%が最も高く、次いで、高血圧症：24.7%、高脂血症：17.8%。また、人工透析：16.6%も高い割合となっている。

生活習慣関連 10 疾患医療費の構成割合 (%)

【医科入院外】

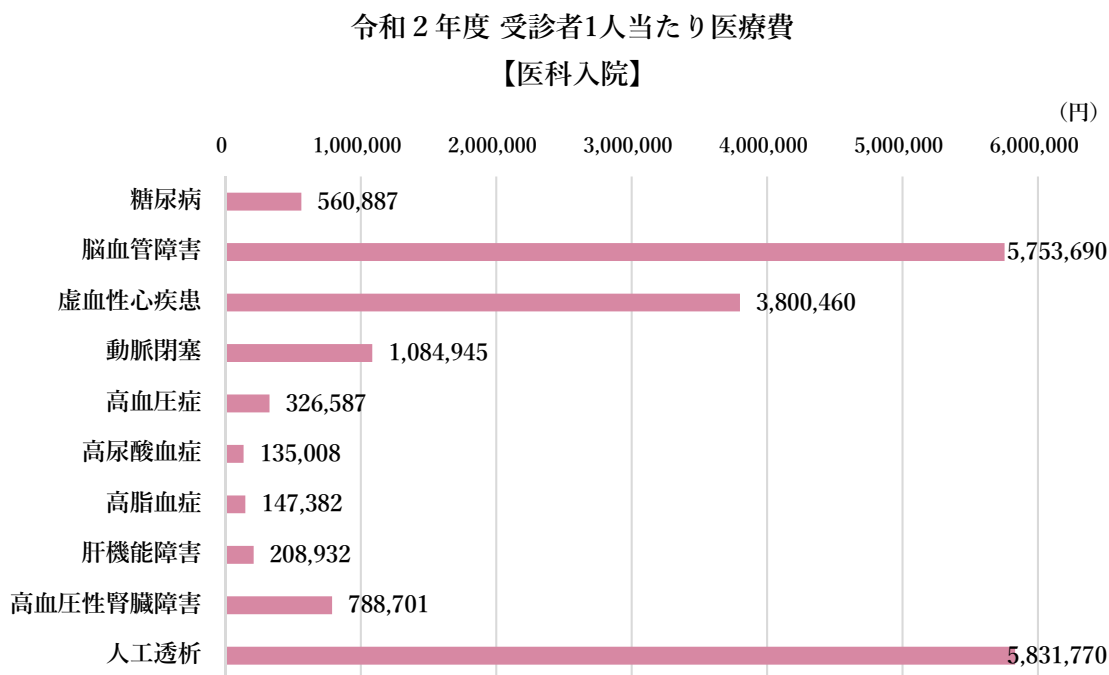
10 疾患計：3,560 億 5,213 万 8,930 円



### (3) 受診者1人当たり医療費

#### 1) 医科入院

- 人工透析が583万1,770円と最も高く、次いで、脳血管障害：575万3,690円、虚血性心疾患：380万460円。



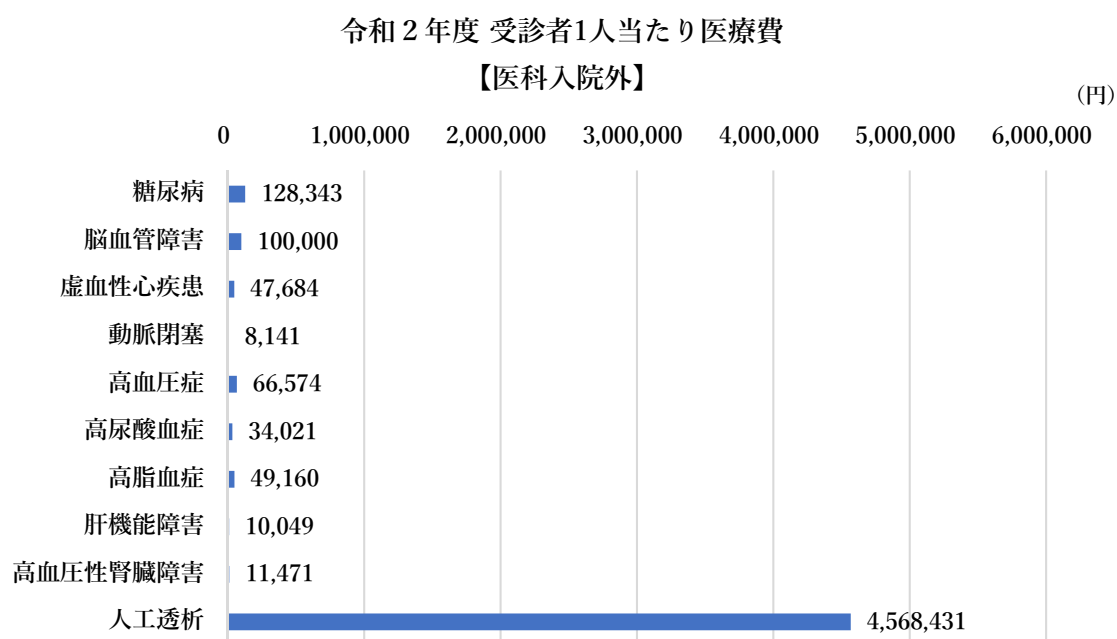
#### 令和2年度受診者1人当たり医療費

1,250 組合	受診者1人当たり <sup>2</sup> 医療費(円)	加入者1,000人当たり 受診者数(人)	加入者1人当たり 医療費(円)
糖尿病	560,887	0.44	245
脳血管障害	5,753,690	0.13	764
虚血性心疾患	3,800,460	0.14	525
動脈閉塞	1,084,945	0.00	1
高血圧症	326,587	0.53	174
高尿酸血症	135,008	0.10	13
高脂血症	147,382	0.31	45
肝機能障害	208,932	0.03	6
高血圧性腎臓障害	788,701	0.00	1
人工透析	5,831,770	0.03	186

<sup>2</sup> 加入者1人当たり医療費=加入者1人当たり受診者数×受診者1人当たり医療費

## 2) 医科入院外

- 人工透析が 456 万 8,431 円と最も高く、次いで、糖尿病：12 万 8,343 円、脳血管障害：10 万円。



### 令和 2 年度受診者 1 人当たり医療費

1,250 組合	受診者 1 人当たり 医療費(円)	加入者 1,000 人当たり 受診者数(人)	加入者 1 人当たり 医療費(円)
糖尿病	128,343	36.6	4,696
脳血管障害	100,000	2.5	254
虚血性心疾患	47,684	7.0	333
動脈閉塞	8,141	0.0	0
高血圧症	66,574	52.6	3,502
高尿酸血症	34,021	12.8	435
高脂血症	49,160	51.3	2,522
肝機能障害	10,049	8.4	84
高血圧性腎臓障害	11,471	0.1	2
人工透析	4,568,431	0.5	2,354

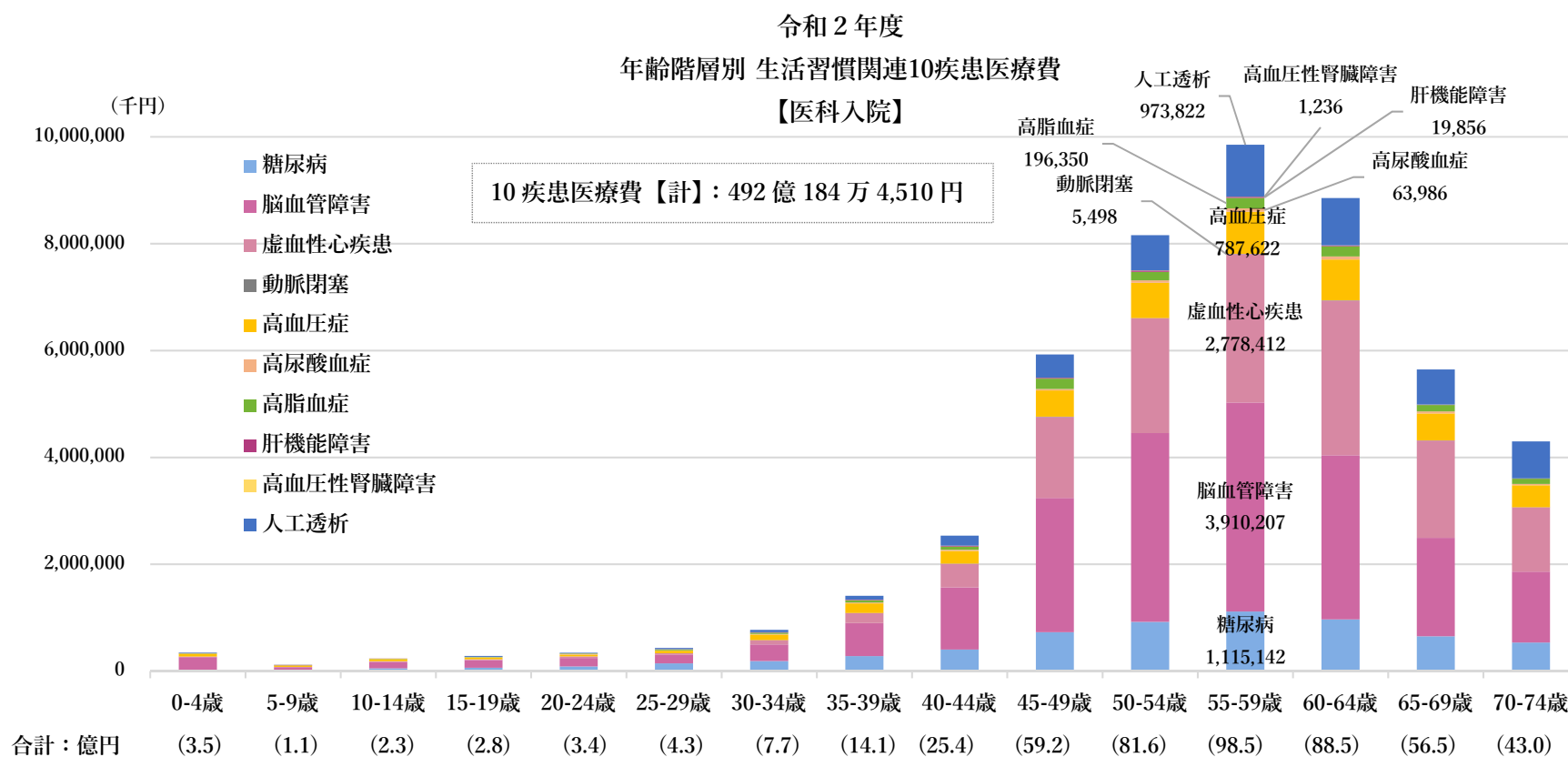


(4) 年齢階層別にみた医療費及び構成割合

1) 医科入院

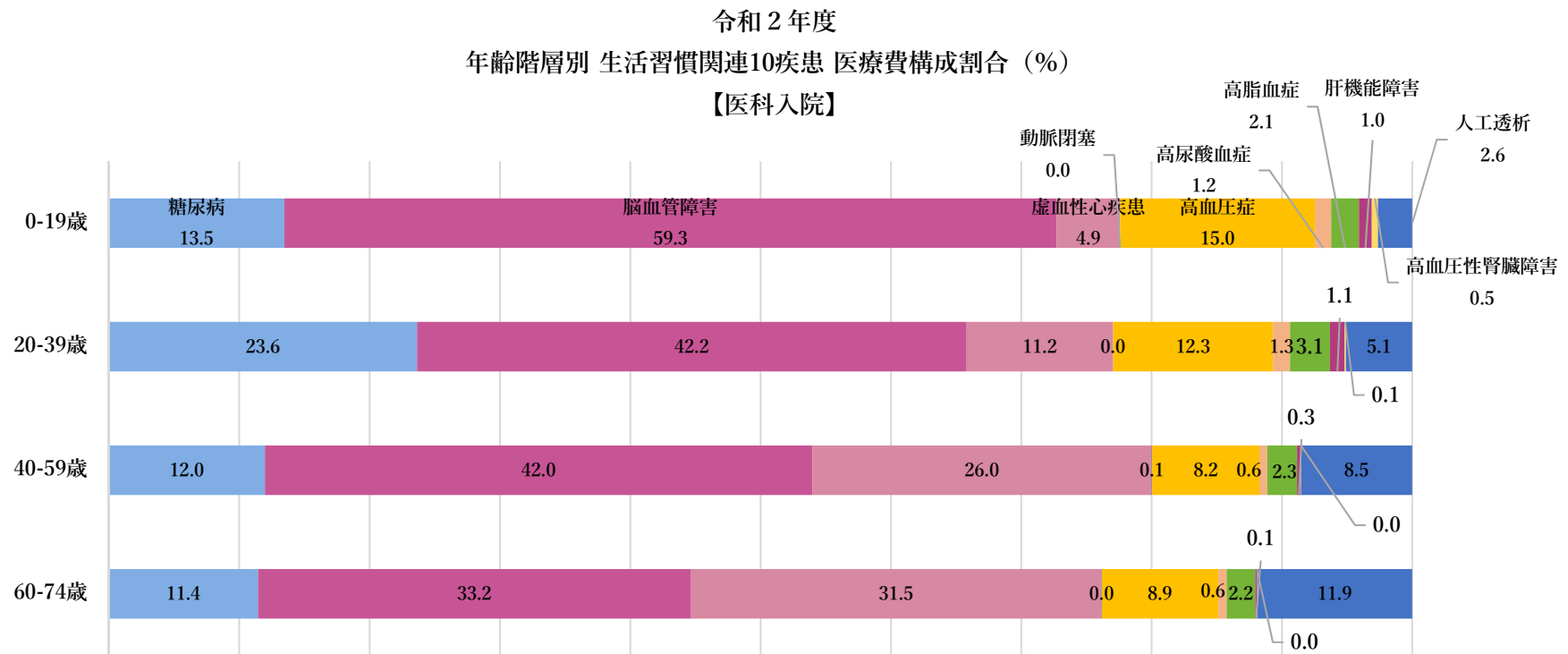
① 医療費

- 総額（積み上げ）では55-59歳（98.5億円）が最も高く、次いで、60-64歳（88.5億円）、50-54歳（81.6億円）。
- 55-59歳の疾患をみると、脳血管障害（39.1億円）が最も多く、次いで、虚血性心疾患（27.8億）、糖尿病（11.2億円）。



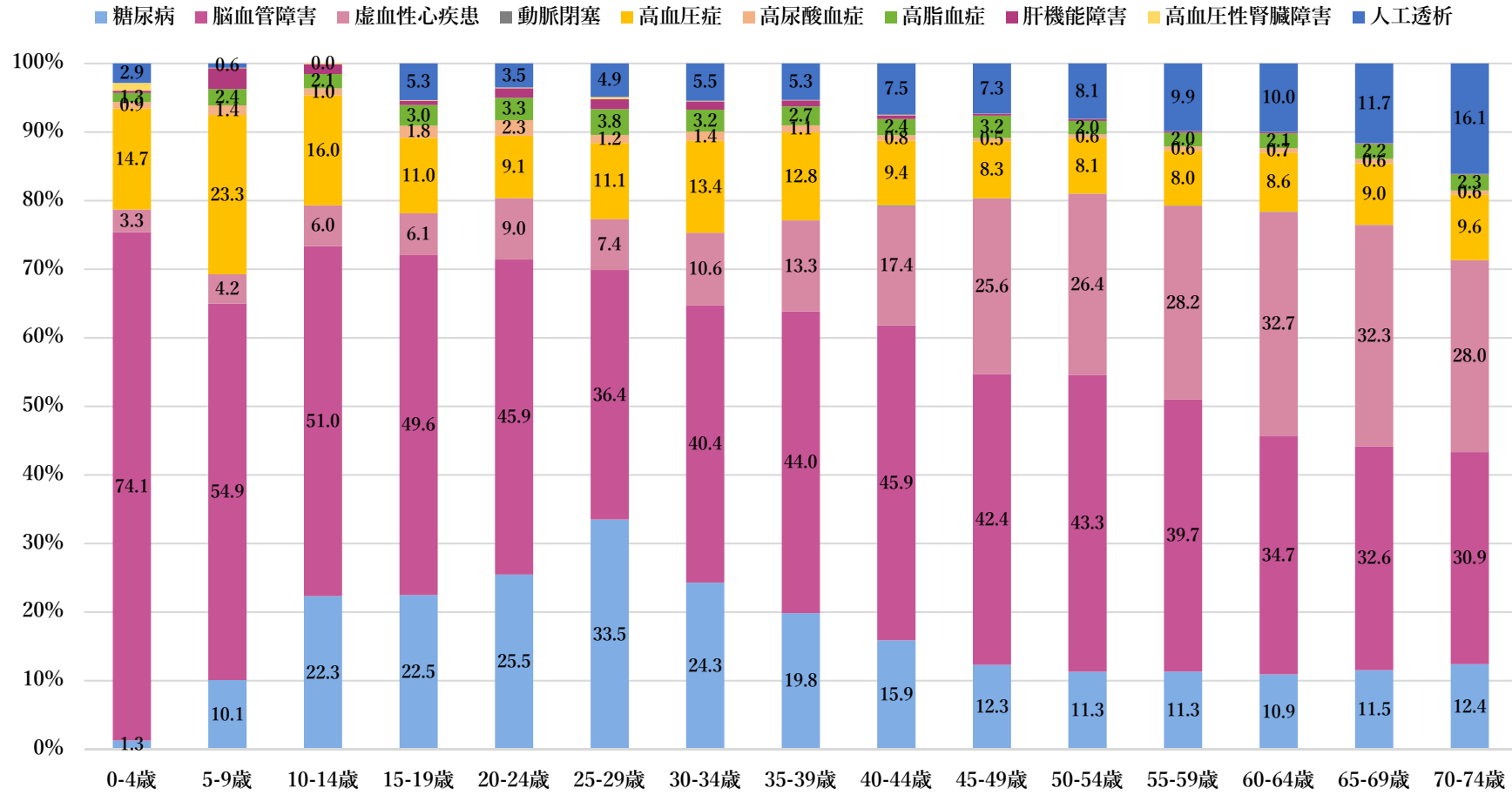
## ② 構成割合

- いずれの年齢階層区分でも脳血管障害の割合が最も高い。
- 0～19歳では、脳血管障害に次いで、高血圧症（15.0%）の割合が高く、20-39歳では、糖尿病（23.6%）の割合が高くなる。
- 40～59歳では、脳血管障害に次いで、虚血性心疾患（26.0%）の割合が高くなり、60～74歳でも虚血性心疾患（31.5%）の割合が高い。



(参考③)

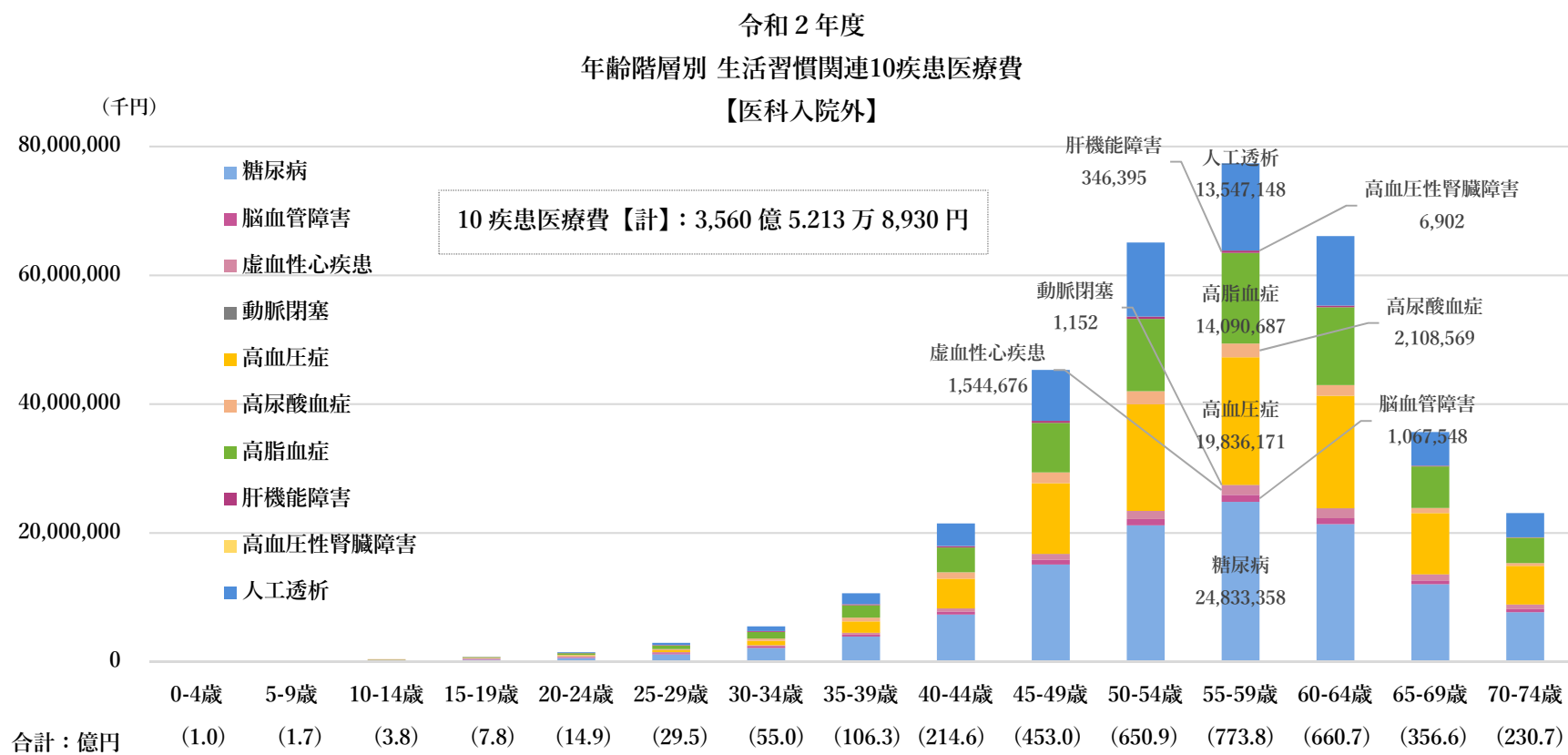
令和2年度  
年齢階層別 生活習慣関連10疾患 医療費構成割合 (%)  
【医科入院】



## 2) 医科入院外

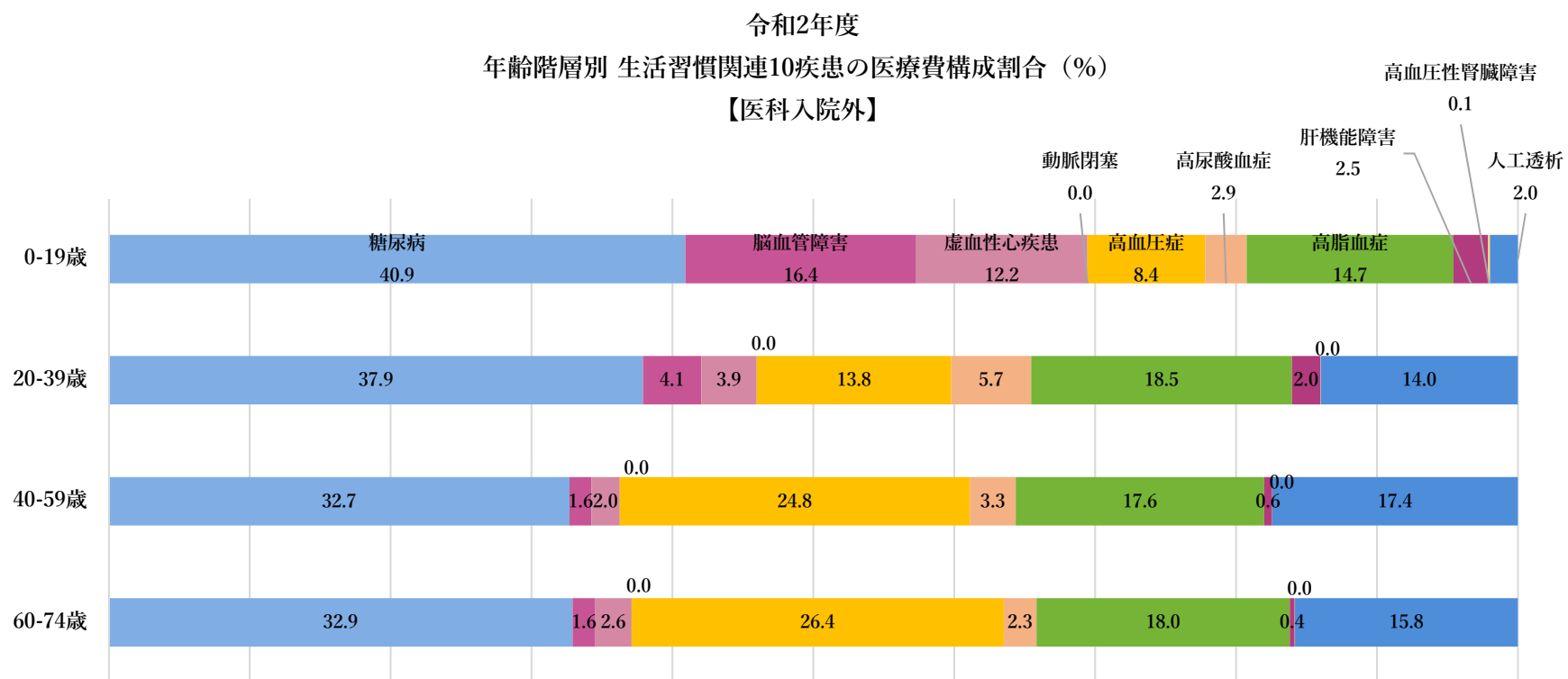
### ① 医療費

- 総額（積み上げ）では55-59歳（773.8億円）が最も高く、次いで、60-64歳（660.7億円）、50-54歳（650.9億円）。
- 総額が最も高い55-59歳の疾患をみると、糖尿病（248.3億円）が最も多く、次いで、高血圧症（198.4億）、高脂血症（140.9億円）。



## ② 構成割合

- どの年齢階層区分でも糖尿病の割合が最も高い。
- 0～19歳では、糖尿病に次いで、脳血管障害（16.4%）の割合が高く、20-39歳では高脂血症（18.5%）の割合が高くなる。
- 40～59歳では、糖尿病に次いで、高血圧症（24.8%）の割合が高なり、60～74歳でも高血圧症（26.4%）の割合が高い。



(参考④)

令和2年度  
年齢階層別 生活習慣関連10疾患医療費構成割合 (%)  
【医科入院外】

